

みずほCustomer Desk Report 2025/08/05 号 (As of 2025/08/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.65
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.35	1.1588	170.67	1.3280	0.6469
SYD-NY High	148.07	1.1597	171.15	1.3331	0.6489
SYD-NY Low	146.86	1.1550	169.91	1.3255	0.6460
NY 5:00 PM	147.10	1.1573	170.23	1.3287	0.6467
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,173.64	585.06	日本2年債	0.7500%	▲0.0600%
NASDAQ	21,053.58	403.45	日本10年債	1.5000%	▲0.0500%
S&P	6,329.94	91.93	米国2年債	3.6763%	▲0.0023%
日経平均	40,290.70	▲ 508.90	米国5年債	3.7390%	▲0.0156%
TOPIX	2,916.20	▲ 32.45	米国10年債	4.1934%	▲0.0216%
シカゴ日経先物	40,625.00	580.00	独10年債	2.6274%	▲0.0497%
ロンドンFT	9,128.30	59.72	英10年債	4.5045%	▲0.0190%
DAX	23,757.69	331.72	豪10年債	4.2680%	▲0.0530%
ハンセン指数	24,733.45	225.64	USDJPY 1M Vol	10.00%	0.32%
上海総合	3,583.31	23.36	USDJPY 3M Vol	10.29%	0.12%
NY金	3,426.40	26.60	USDJPY 6M Vol	10.13%	0.11%
WTI	66.29	▲ 1.04	USDJPY 1M 25RR	▲1.23%	Yen Call Over
CRB指数	293.65	▲ 1.63	EURJPY 3M Vol	9.03%	0.15%
ドルインデックス	98.78	▲ 0.36	EURJPY 6M Vol	9.09%	0.18%

東京	東京時間のドル円は147.35レベルでオープンすると、先週末からのドル売りの流れが早々に一服。序盤は買い戻しが優勢の展開となり、ドル円は一時147.89まで反発した。ただ、米労働市場の減速等を背景にFRBの利下げ観測が強まるなか、ドル円の上げ幅は限定的となり、147.70付近でレンジ推移した後、147.81レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ドル円は147.81レベルでオープン。先週の米7月雇用統計を受けた、FRBによる利下げの可能性を引き続き消化する展開。リスクセンチメントは改善し、ユーロストック스가上昇、ドルは弱含みとなった。ドル円は147円台前半まで下落し、147.33レベルでニューヨーク市場へ引き継がれた。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、先週金曜に発表された米7月雇用統計の結果を背景に早期利下げ観測が強まる中、米金利の低下に伴ったドル売りが優勢となり、一時146.86をつける。その後147.40近辺まで値を戻す場面が見られたもの、147円台前半を中心に上値は重く、結局147.10レベルでクロスした。ユーロドルは独金利の低下が重しとなり、1.1580付近を挟んで上値の重い推移。午後は手がかりが特段見当たらない中、1.1570付近を中心に動意を欠いた値動きが続き、1.1573レベルでクロス。

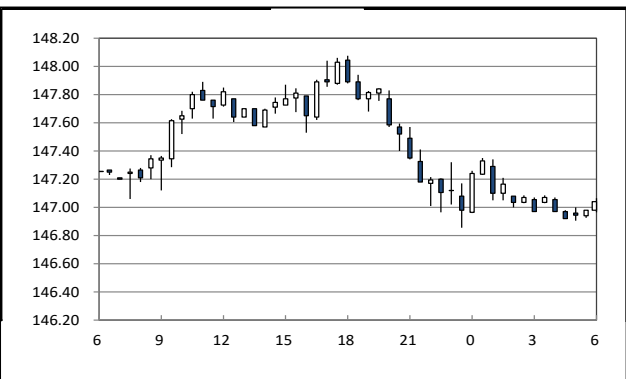
国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の指標等】

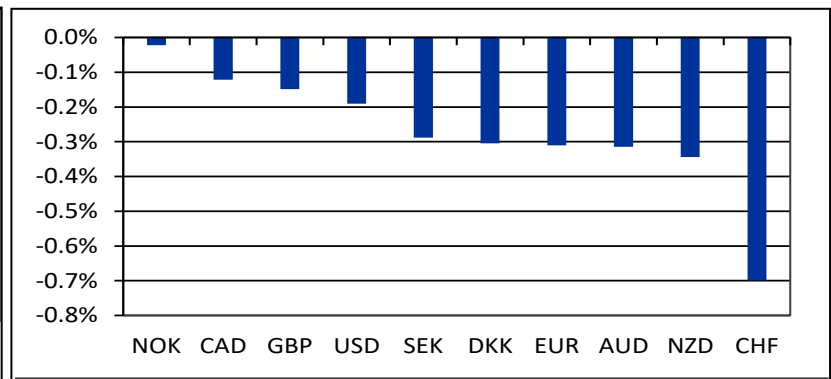
Date	Time	Event	結果	予想
8月4日	23:00	米 製造業受注(前月比)	6月 -4.8%	-4.8%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	6月 0.4%	0.3%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	6月 -9.4%	-9.3%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月 0.2%	0.2%

Date	Time	Event	予想	前回
8月5日	08:50	日 日銀 議事要旨	-	
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.6%/-0.5%	-0.5%/-0.9%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	6月 1.2%/-	-1.0%/-0.1%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	6月 0.9%/0.6%	-0.6%/0.3%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$61.0b	-\$71.5b
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 51.5	50.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	1.1520-1.1670	168.00-171.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間147.35でオープンし、先週末からのドル売りの流れが早々に一服。序盤は買い戻しが優勢の展開となり、ドル円は一時147.89まで反発した。ただ、米労働市場の減速等を背景にFRBの利下げ観測が強まるなか、ドル円の上げ幅は限定的となった。ロンドン時間に入ると、序盤はリスク警戒の動きが一服し、ドル円も一時この日の高値148.07まで上昇。しかしその後は再び米FRBによる利下げ観測を意識してか、ドル円は147円台前半まで下落。NY時間では、先週金曜に発表された米7月雇用統計の結果を背景に早期利下げ観測が強まる中、米金利の低下に伴ったドル売りが一段と優勢となり、一時この日の安値146.86まで下落し、147.10でクロスした。 先週金曜日に発表された米雇用統計の軟調な結果を受けて、米FRBによる早期利下げへの期待で昨日のドル円は一時147円台を割り込む展開となった。米金利が大きく水準を引き下げている状況下、本日のドル円は引き続き上値重く推移し、下値を探る展開となるか。本日NY時間では、米6月貿易収支、7月サービス業・総合PMI、7月ISM非製造業総合景況指数等、多くの指標の発表が予定されている。ポジティブ材料が発表された場合はドル円の反発が想定される一方で、ネガティブな結果となった場合は、一段のドル売り相場に留意したい。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。